



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理 念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療 患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に 医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い 安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療 ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の 育成を行います



みなさま明けましておめでとうございます。

令和になって初めてのお正月、年末から9連休ということでゆっくり過ごされたでしょうか?

久しぶりに集まったご家族、もしかしたら3世代、4世代の大家族が勢揃いしたところもあるかもしれません。一家団欒の中で、昨年在宅医療サポートセンターの目標に掲げたACP(人生会議)をやっていただけたとすれば有り難いと思います。今年も引き続きACP 啓発事業を推進して行く所存ですのでみなさまのご理解とご協力をお願いします。

さて、年末年始の間、当院の救急外来は地元住民、観光客、里帰りの人たちなど多くの人が受診され大忙しでした。担当された医師、看護師、スタッフのみなさまはお疲れ様でした。当院が人吉球磨・伊佐・えびのの救急医療、特に循環器・脳血管疾患に対する高度急性期医療の要であることは間違いありませんが、超高齢社会の特徴である慢性疾患(リピーター)の患者さんも増加しています。医師偏在・働き方改革による当圏域の救急医療提供体制維持に不安の声も上がっているところです。今年は、地域の救急医療機関と連携・協力したネットワークを再構築し、そのコントロールタワーとしての役割を果たして行かなければならないと強く感じています。熊本の3次救急病院とのゲイトキーパーとしての役割もくまもとメディカルネットを利用しさらに連携を緊密にして行きたいと思います。

地域の将来予測では既にがん患者の減少が始まっていると考えていますが、これまで通りがんの早期発見・生活習慣病予防による一次予防に力を入れるとともに、手術、化学療法、放射線治療、温熱治療、リハビリ、緩和医療に力を入れて行きます。手術治療ではこれまで地域のみなさまにご不便をおかけしていました泌尿器科が2名体制で再開し結石やがん治療を行う予定です。もちろん

救急医療と同様、高度先進医療を行う大学や熊本市の医療機関とネットワークを駆使して連携し患者に寄り添った適正な包括的がん 診療を提供したいと思います。

本年は東京オリンピック・パラリンピックというビッグイベントの年ですが、医療界においては2年に一度の診療報酬改定が行われます。加えて当院においては5年に一度の病院機能評価の受審を8月に予定しています。当圏域をみてもすでに人口減少高齢化が進み肺炎・骨折・脳卒中などの高齢患者が増加していますのでさらに他の医療機関や介護施設と連携して急性期病院としてその対応に当たります。一方で外国人観光客や労働者も増加するため病院では外国人に対するコミュニケーションシステム導入も検討します。今後、今まで準備していなかった部分にも配慮して多様な病院整備をする必要があると考えます。

2025年に向けた地域包括ケアシステムが提唱され、地域医療構想そして調整会議が継続して開催されています。2025年は目前に迫っていますが、最近では団塊ジュニアが高齢者となる2040年が問題となっています。会議に参加する委員の中で、20年後現役として働いている人は少ないと思いますが、安心して暮らして行ける地域には医療は必須ですので20年先のことを想像しながら未来に向かって今やるべきことを真剣に話し合って行こうと思います。

「子年は繁栄」「鼠は子孫繁栄」の言葉通り今年1年がみなさま にとって明るい幸せな一年であることを願っています。

令和2年 元旦

独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター 院長 木村 正美



当院では、人工股関節置換術に『**手術支援ナビゲーションシステム**』を導入しています ~整形 Ope ナビ紹介~

近年、非常に増加傾向にある変形性膝関節症は、症状が悪化すると『人工膝関節置換術』という手術で治療することが選択肢の一つになります。この人工膝関節置換術においては、より安全にそして確実に手術を行うことを目的として、コンピューター支援技術であるナビゲーションを用いることができます。

人工膝関節置換術におけるナビゲーションでは、車を運転する際のナビゲーション同様、人工関節(インプラント)を設置する為の器具の角度や方向を、画面上に具体的な数値で正確に示してくれるため、手術の確実性・安全性が各段に向上します。

人工膝関節置換術では、インプラントの設置位置と設置角度が非常に重要であり、不正確な設置は部品の早期摩耗・破損につながります。人工膝関節を長持ちさせる為には、医師の計画

通りに設置することが必要で、ナビゲーションはそれを助けて くれる頼もしい存在なのです。

今後、ナビゲーションを含めたコンピューター支援技術は、

人工関節分野においても 発展していくことが予測 されます。このような技 術により人工関節がより 普及し、一人でも多くの 痛みを抱える患者さんを 治療していきたいと考え ています。





資料提供:日本ストライカー株式会社

令和元年度緩和ケア研修会 (PEACE)

1月18日(土)、当院3階講堂において 令和元年度緩和ケア研修会(PEACE)が開催されました。

昨年度から、e-learningによる事前研修と集合研修へ形式が変わり、医師だけではなく、看護師や薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど、様々な職種の受講生の参加が可能となりました。

アイスプレイキングでは、疼痛のコントロールやコミュニケーション、地域連携などについて、事前学習を元に振り返りました。具体的な症状や患者さんの言動を示したり、ご本人やご家族と関わる際に心がけておられることを教わったり、講師の先生方の経験や人柄が盛り込まれたものでした。また、病状告知のロールプレイでは、様々なコミュニケーションスキルを用い、言葉の選び方や伝え方、表情などに気を配った真剣な取り組みが見られました。緊張感を味わう場面ではあったものの、その場面の振り返りを通し、患者さんの立場で感じたこと、医療者として改めて気づいたことなど、様々な体験が得られた



ようです。そして、グループ ワークでは、設定された事例 を元に、現在の課題や今後の 取り組みについて、活発な意 見交換がなされ、各職種から の様々な視点や工夫が詰まっ

た発表でした。





受講生からは、「難しかったけど勉強になった」と声が聞かれ、 講師からは、「今後の活躍が楽しみ」と受講生へのエールをい ただきました。

本研修は、がん対策基本法に基づき、地域がん診療連携拠点 病院の要件となります。来年度の研修も予定されていますので、 来年度も多くの方の受講をお待ちしております。

医療福祉連携室 鶴田 真奈美

千年カルテについて

電子カルテ (投薬情報、検査結果) や C T 画像のデータといった患者に関わる大量の情報 = 「医療ビッグデータ」を AI を活用するなどして解析すると、病気の早期発見や、最適な治療の選択、新薬の開発にも役立つと考えられています。しかし患者さんに関する情報は全国の医療機関に分散しているうえ、匿名化されておらず、2 次活用が難しい状態が続いてきました。

こうした中で、内閣府などは2019年12月、研究機関や企業に患者データを提供し、活用してもらう仕組みを整備する「次世代医療基盤法」に基づき、医療機関が持つ患者さんのデータを匿名にする事業者(「一般社団法人ライフデータイニシアティブ」など)を初めて認定しました。早ければ、今年春以降、研究機関や製薬会社などにデータを提供できるようになり、医療ビッグデータの活用が本格的に始まることになります。

これにより当院も、日本医療ネットワーク協会が進める「千年

カルテプロジェクト」(※)に「患者さんの同意を得た上で」データ提供が可能となります。当院での実際のデータ提供などや運用については、これから検討し準備をしていく予定です。

経理課 髙田 要人

(※)地域ごとの医療情報センターに分散記録された患者カルテ情報を、地域を越えて患者さんが全国どこへ移動しても、必要に応じて患者さん自身のカルテ情報に安全にアクセスできるシステムの開発/提供をめざし、全国共同利用型国際標準化健康・医療情報の収集及び利活用に関する研究事業

NHK ニュース:

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200104/kl0012234991000.html

千年カルテプロジェクト:

http://www.gehr.jp/about/index.html

~賢い病院のかかり方~

現在、当院では多くの救急患者が受診されていますが、そのうち帰宅となった軽症例も多い状況です。今後も軽症例が増加していくと、入院が必要な重症・中等症例に対して迅速な対応ができなくなります。

当院は地域医療支援病院として、人吉・球磨のみならず伊佐・えびの地域の200を越える登録医のご協力を得て、地域の医療機能分担と連携を図りながら診療を行っております。日頃の健康管理や継続的な治療などの診療は地域医療機関にお任せし、ある程度病気や病状を絞っていただいてから、精密検査や手術など専門医療が必要な患者さんをご紹介いただくという流れで急性期医療に力を入れております。この方針をさらに進め、外来待ち時間の短縮など患者さんの負担軽減や緊急時の迅速対応につながるよう紹介受診を推進し、完全予約制を導入しております。また、国でもこの機能分化推進のため、選定療養費(紹介なしで200床以上の病院を受診する場合に発生する保険外の分)の値上げを検討されているところです。

まずは、症状が出たら早めにかかりつけ医や近医を受診しましょう。必要に応じて、かかりつけ医などでできない検査や手術など専門の医療機関・高度医療機関へ紹介となった場合には、



予約が必要となることがありますので、その医療機関へ問い合わせをして受診するようにしましょう。

当院では完全予約制となっておりますので、ご予約の際は予 約センターまでご連絡ください。

人吉医療センター 予約センター (TEL0966-22-1900)

要保護児童対策協議会(要対協)をご存知ですか?

要保護児童対策地域協議会は、要保護児童等のへの適切な支援を図ることを目的に児童福祉法改正に際して、同法第25条の2に規定された地方公共団体が設置・運営する組織をいい、代表的な構成員としては、児童福祉関係の行政、教育機関、警察、医療機関の担当者となります。

支援対象は、要保護児童、要支援児童、特定妊婦の3者に定めることができるとされており、産婦人科、小児科が設置されている当院においても、要対協に関与する機会が少なからずあります。

要対協では、行政、学校、警察、医療機関など複数の機関と協力しながら、対象者を含む家族をどのように支援できるのか を話し合い、それぞれの専門性に応じた見解を延べ、役割を担います。

対象者やその家族は、自ら支援を求めることもありますが、

支援が必要な状態に陥っている事に気が付いていない場合もあります。

核家族化や地域の結びつきが希薄になっている今日では、児童や妊婦に関わる機関の職員の気づきと連携した支援が必要ですが、実は生活者である私たちの気づきも大きな役割を持っています。

小さな子どもが一人で道に出ているのを数回見かけた、季節 外れの洋服を着て寒そうにしている子どもがいるなど、周囲の 人の気づきで、その子の保護者が何らかの事情で子の養育に 困っていたなどの問題が明らかになることもあります。

私達一人一人が要対協のメンバーのつもりで、「おせっかいかな?」と思ったその気づきを身近な機関へ相談してください。 当院も、これからも多数の機関と連携し、より良い児童の育成環境を支援して参ります。

患者の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会受講しました

1月13日、熊本県医師会館において厚生労働省委託事業「患者の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」に緩和ケア統括部長 渡邉医師、入退院サポートセンター 山下看護師、社会福祉士 田頭、杉松の人吉医療センターの ACP チームで受講してきました。

当研修会ではまず人生の最終段階において、本人の意向と最善利益を尊重した医療・ケアを実践するための学びとして、ガイドラインを理解し実践できることを目標に、意思決定に必要な法的・倫理的知識について説明がありました。また、意思決定支援や方針決定の流れについて、STEP1-5の5段階で本人・家族の意向を確認していくプロセスについて学びました。

ロールプレイでは、症例に基づき患者役・医療者役にわかれ病状の理解の確認から本人の生活歴、意思決定能力があるか、今後の意向を確認する等、面談の難しさを改めて体験しました。さらに、本人の意思表示が困難になった場面では、本人にとっての最善の方針をこれまでを振り返りながら代理人・医療ケアチームで Jonsen らの 4 分割法という手段で情報を整理し推測



に至る経緯を形にするグループワークを行いました。これまで 何気に行っていた日常業務を実際に表に書き出すことは普段し ない業務であり苦労しました。

今回の研修を通して改めて基本を学び、ACPは結果ではないこと、話し合うプロセスの重要性についてより深く学びました。今、当院では職員・地域へ向けた普及啓発活動を行っています。今後は希望される患者さん、家族にACPを繰り返し実践できるよう、そして遺族のグリーフケアにつながるような取り組みができるようACPチームで当院に合った形を模索し実践していきないです。

医療福祉連携室 杉松 紗織



入退院サポートセンター編 連載 入院時支援 Vol.1

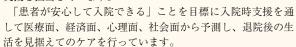
入院時支援を2018年5月からスタートし1年9ヶ月が過ぎ ました。

近年、入院期間の短縮・社会背景・医療や福祉ニーズの増大 から相談内容は複雑かつ多岐にわたります。限られた時間で効 率的・効果的に質の高い支援を提供するために、専門職の協働 が必要不可欠です。そこで今年は、入院時支援に関わる支援内 容、抱負などお伝えし入院時支援についてご理解頂けるように 多職種で連載していきます。

初陣は、入院時支援業務を行っています看護師・社会福祉士 の山下ルミです。

私は看護師として従事していましたが、地域の高齢化が進み、 高齢者世帯、高齢者独居、老々介護、日中独居者が増え、介護・ 経済的問題など疾患以外の問題が多岐にわたるようになったこ

とを実感していました。これから は「医療と福祉を繋ぐ」者が必要 と思い、6年前に大学へ進学し社 会福祉士の資格を取得後、入院時 支援を担当しています。



それぞれの職種では教育背景や倫理観、それに伴う判断等の 相違があると思いますが、互いの役割を認識しつつ協働して最 大限の支援をすることをチームで目指します。

次回は、笑顔が素敵な管理栄養士の大岩さんです。

入退院サポートセンター 山下 ルミ



早期臨床体験実習

12月に5日間の日程で、人吉医療センターで早期臨床体験 実習をさせていただきました。私は将来、地域医療に携わる 医師になりたいと考えており、実際に働いている方々の姿を 見て学びたいと思ったため今回の実習で人吉医療センターを 選ばせていただきました。たった5日間でしたが、病棟回診、 外来陪席、心臓カテーテル検査見学、救急外来見学、カンファ レンス参加といった院内実習、訪問診療、五木村診療所訪問 といった院外実習をし、貴重な体験をさせていただきました。 今回の実習で、患者さんの年齢層が高いこと、患者さんと医 療関係者の距離感が近いことを感じ、これが地域医療の特色 だと思いました。また、外来には薬でコントロールがついて いる安定期の患者さんがいらっしゃる一方、救急外来には一

刻を争う患者さんが運ばれて来ていて、地域の中核病院ならでは の光景だと思いました。

今回印象的だったのは、ご一緒させていただいた時間が長かっ たのもありますが、研修医の先生方の医師としての姿でした。患 者さんと親しげに話し、症状、所見から診断を下し、テキパキと 指示を出し、一日中休みなく働き、その上で日々の勉強を欠かさ ない姿は、とても自分には真似できそうにないと思ってしまいま した。先生方は働き始めたら本気で頑張れるとおっしゃっていま したが、、、将来の自分に期待したいと思います。

短い間でしたが有意義な時間を過ごすことができ、医学を学ぶ 意欲が高まりました。最後になりましたが、木村先生、下川先生、 田浦先生、田中先生、泉先生、そして実習中お世話になった方々 に心から感謝申し上げます。

熊本大学医学部 3 年 加地 泰彬

~サラメシ HMC Ver.~ Vol.3

今回は、リクエストの多かった栄養管理室を紹介します。

女性スタッフ8名で構成されている栄養管理室は、入院時の 栄養スクリーニングから栄養アセスメントを行い、個々の病態に 合わせた栄養管理を早期に実施しています。病棟では、病態や 咀嚼・嚥下機能に適した食事の提案、経腸栄養剤の投与プラン の立案、食物アレルギー等の確認を行い、多職種と連携しなが ら患者さんの栄養管理をしています。また、栄養サポートチー ムの主力メンバーとして術後の合併症予防、在院日数の短縮化、 治療効果・QOL の向上を目標に多職種と連携して活動していま す。さらには2018年度に新設した入院時支援センターでも予約 入院の患者さんへ栄養評価や入院時の食事の対応を事前に聞き

とり、安心して入院生活が送れるよう取り組んでいます。

そんな多方面で活躍する当院管理栄養士の源となるサラメシは…!? 「みんな、気合い入れて作って来ていました~♪」と持ってこ られたのが以下の写真!!!

どれだけ気合いいれても私には到底できないこの豪華弁当た ち。栄養管理室で HMC カフェができますね。そして、スタッ フのお誕生日には誰かがケーキを焼いたり、お弁当を作ってあ げたりされているそうです。ご相伴にあずかりたい・・・。 栄養管理室の心も体も温まるお弁当!ごちそうさまでした!!

医療福祉連携室



五穀米弁当











ベーグル(お手製!)サンド







スマイルおにぎり



HMC 検食



田山	里英	身体のあちこちに支障がでてきた年頃ですが…子育てと仕事の両立頑張ります!	酒	包	美乃莉	週1みたらし団子食べます。運動もし ます。
永峰	里紗	厄年でもありますので、チュー意して過 ごします。	切	畑	陽菜	エコー手技上達のための勉強を頑張る!
ШО	亜由美	子どもにパワーをもらいながら仕事を頑 張ります!!	松	/ 田	昌也	細菌検査のスキルアップに努めます。
			木	村	裕嗣	血液検査の勉強を頑張ります。
Ш	恵子	丑の背中に乗って一等になるような賢さ は私にはありませんが、小さな歩みでも 愚直に頑張ろうと思います。	木	下	学	いろいろ頑張ります。
奥谷	京香	今年も1年コツコツと頑張ります!	宮	原	由佳	仕事に家庭に健康第一で頑張ります。
柳原	玲那	今年も健康に気をつけて頑張ります。	Œ	頭	隼人	ひたむきに日々頑張ります。
玉吉	花蓮	落ち着いて行動できるよう頑張ります。	田	村	眞美	筋力アップに励み、楽しめる趣味を見つ けて元気なシニアを目指します。
松本	知子	仕事と子育て頑張ります。	横	枕	めぐみ	今年一年体調管理に気を付け、仕事・私 生活に頑張りたいと思います。
田中	杏沙	夜食を減らしていこうと思います。健康 第一。	石	神	哲郎	暦の上で一廻りしました。また、最初からボチボチやっていきます。
河野	千秋	今年は子育て、仕事頑張ります。				5m/ m/ P/CC12 & 9°
岡原	尚己	入職3年目になり、後輩も増え先輩の 立場になりつつありますが、初心を忘れ ず、患者さんの元へたくさん足を運び、	¢	村	康大	歯科医師7年目、今まで以上に患者様・ご家族のお役に立てるよう精一杯頑張ります!よろしくお願い致します!
		更なる学びを得ていきたいと思います。	7	橋	由香	毎日、笑顔で楽しくすごせるように、が
森 悦子		人生、リセットします。		J 1140		んばります!
井福	明美	今年は60歳、年女です。残された病院での勤務も短くなってきています。患者様のために、また地域の皆様、そして、病院のために私に任せられた仕事を一つ一つゆっくり丁寧に頑張っていこうと思います。そして健康に注意していつまでも笑顔をわすれずがんばります。	新	屋	敦司	ねずみ年なので「集中」して日々の業務 に取り組み、「パッと」明るく元気に過 ごしたいです。
			河	野	淳哉	仕事もプライベートも楽しみます!
			大	野	貴史	目指せトップナイフ!!
尾方	加代美	60 歳になるまで医療センターで働ける と思っていませんでした。今年もよろし くお願い致します。	立	開	真由美	できることからコツコツと…自己研鑚に 励みます。
内田	桃香	「健康第一」で一年頑張りたいと思います。	井	上	義晴	健康第一で頑張りたいと思います。
上村	明子	健康第一に頑張ります!	城	影	孝	今年は新しいことにチャレンジしていこ うと思います。
豊永	さやか	ネズミのようにたくさん食べて、元気に 走り回りたいと思います。	豊	原	早織	今年は新たな資格の取得を目指したいです。あと今年こそウォーキングを始めたいです。
栫 帆南		昨年より飛躍し良い年に出来るよう頑張 ります。	I	藤	耕成	今年一年、仕事頑張ります!



くま川サロン

12月25日「治療中のスキンケアとメイクのヒント、頭皮頭 髪ケア」についてアデランスの小川裕美さんを講師にくま川 サロン(がん患者会)を開催しました。

今回、治療前後の頭皮・頭髪ケアや対処法、ウィッグの選 び方など、実際商品を手に取りながら説明をしていただいま した。また、治療中の爪の亀裂や変形、変色等のときに使 用できるネイルケアとしてマニキュアの紹介が行われました。 希望の方にはウィッグの試着等個別対応もして頂き、受講し て頂いた方は喜ばれたようです。小川さんより「治療中の方は もちろん治療前にも聞いて欲しい事が沢山あります。商品は 安くはありませんが、外見ケアは男性女性問わず元気に過ご すひとつの手段です。悩まれておられる方は商品購入の前に



専門スタッフへ相談されてみてはいかがでしょうか」と話されまし

当院でも入退院支援センターや相談支援センターで治療中のケ アについて資料・サンプルをご用意しております。気になる方がい らっしゃいましたらどうぞお気軽にお問い合わせください。

人吉医療センター 相談支援センター

行事食のご紹介

年末年始はにぎやかな行事が続きました。栄養管理室から はクリスマスプレゼントにクリスマスディナーをご用意させ て頂きました。黄金色に焼き上げたローストチキンをメイン にサラダ、スープ、デザートのショートケーキまでフルコー スでお楽しみいただけるよう工夫しました。予想していな かったディナーに沢山の喜びの声を頂き、改めて患者の皆さ んにとって美味しい食事が治療の励みになっているかを実感 することができました。

また、お正月は雑煮から始まり、紅白かまぼこ、伊達巻き、 八幡巻き、ブリの照り焼き、たたきごぼうなど各々の食品や 料理に思いを込め、提供いたしました。彩り豊かな料理に目 でも味でも楽しんでいただけたのではないでしょうか。

今年もより多くの患者様に美味しい食事を提供し、喜んで いただけるよう栄養管理室一丸となって頑張っていきたいと 思います。

管理栄養士 田口 ゆり







おせち料理

12月12日ひまわり会を開催いたしました。

今回は、川口ゆき看護師を講師に迎え、乾燥厳しいこの季 節にピッタリなアロマオイルを使ったヘアオイルを作成しま

セサミオイル (生ゴマ油)、サンフラワーオイル、ホホバ オイルをベースに好きな匂いの精油をプラスし、一人一人自 分の好きなヘアオイル作りに調整しました。

「セサミオイル(生ゴマ油)?!」と思いましたが、出来上 がったオイルは、スッキリとした自分好みの香りで、使用し ても頭から食慾をそそる香りがすることもなく、さらっと潤 う、使い勝手の良いヘアオイルができました。

病気の治療中は特に、匂いに敏感になることがあります。 その時々で自分が心地よいと思う香りを生活に取り入れ、少 しでも過ごしやすい環境を調えることは、ストレスを軽減さ

ひまわり会では、乳がんに罹患した患者さんが、病気と共 存しながら生活を送る手助けとなる勉強会をこれからも開催 していきます。

自分のコマーシャル:今回職種を変更し、一からのスタートとなりま すが、職員の皆様にかけるご迷惑が最小限になるよう心がけながら頑

是非、ご参加ください。

医療福祉連携室 岡本 理恵





。 小田 和加子 (6階病棟・療養介助員)

モットー・好きな言葉: 笑う門には福来る 自分のコマーシャル:元気に挨拶。朗らかな態度で仕事に 励みます。よろしくお願いいたします。



稲留 和子(内視鏡室・准看護師)

趣味:スポーツ観戦、花壇の手入れ 好きな言葉:優しさを、顔にも言葉にも 自分の性格:心配性、世話好き

自分のコマーシャル:5年ぶりの現場復帰です。不安でなりませんが 頑張ってみます。ご迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願い します。



田原 結花 (5階病棟・療養介助員)

趣味:ガーデニング

モットー:常に感謝を忘れない

短所:心配性なところと、つい考えてしまう傾向があり



岩崎 さつき(5西病棟・療養介助員)

趣味:音楽鑑賞 好きな言葉:一期一会

うれしかったこと: 昨年12月に4人目の孫が生まれました

自分の性格:明るく、前向きに何事も挑戦する



張りたいと思います。

東坂 美穂(医事課・クラーク)

最終卒業校:熊本学園大学 趣味:写真、ランニング、卓球

好きな言葉:「一期一会」すべての出会い、今日の一日を

大切にしようと心掛けています。 自分の性格: 几帳面で綺麗好き

自分のコマーシャル:現在、もうすぐ1歳になる娘の子育て中です! 体力には自信があります。しばらくランニングはお休みしてますが、 以前熊本城マラソンで42.195kmを完走しました。いつか人吉春風 マラソンにも挑戦してみたいと思っています。

ます

URL